

関西伸銅工業

エムチューブを吸収合併

社名はエムチューブに

関西伸銅工業（本社
大阪府羽曳野市）は、
エムチューブ（本社
和歌山県橋本市）を10
月1日付で吸収合併
し、同日社名を「エム
チューブ株式会社」に

変更する。地金・スク
ラップを原材料として
黄銅素管から抽伸から
切断まで一貫して生産
する銅および黄銅管加
工メーカー、新生「エ
ムチューブ」として新

たなスタートを切る。
両社とも市原金属産
業（本社名古屋市中
区、市原正樹社長）の
関連会社。関西伸銅工
業は国内唯一の黄銅素
管専業メーカーで、生

産量は月間約160ト
で、年間売上高は約21
億円。エムチューブは
銅・黄銅の伸管加工を
手掛け、生産量は月間
約85トで、年間売上高
は約33億円。黄銅管の

生産で関西伸銅工業が
川上工程、エムチュ
ーブが川下工程に当たる
が、関西伸銅工業で生
産する黄銅素管は、既
にエムチューブが販売
窓口となっている。

存続会社は関西伸銅
工業で、新会社の本社
は関西伸銅工業に置
く。社名については「エ
ムチューブ」を継承す
る。事業所の名称は、
本社工場（大阪府羽曳
野市）、橋本工場（和歌
山県橋本市）、堺事業所

（大阪府堺市）で、2
工場1営業拠点とな
る。生産設備などに変
更はない。両社合わせ
て約60人の従業員も継
続雇用し、従来通り事
業に取り組む。社長は
引き続き、市原社長が
就任する。

今回の合併は、市原
金属産業グループの製
造部門として経営効率
を高めていくことが最
大の狙い。一貫した意
思決定と意思統一の下
で、原材料購入から製
造・販売まで業務最適
化を図り、収益力強化
につなげていく方針
だ。